

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公表番号】特表 2006-523275 (P2006-523275A)

【公表日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-040

【出願番号】特願 2006-509699 (P2006-509699)

【国際特許分類】

**E 0 6 B 3/54 (2006.01)**

**B 3 2 B 17/10 (2006.01)**

**E 0 4 B 2/96 (2006.01)**

**E 0 4 B 2/72 (2006.01)**

**C 0 3 C 27/12 (2006.01)**

【F I】

E 0 6 B 3/54 A

B 3 2 B 17/10

E 0 4 B 2/96

E 0 4 B 2/72 A

C 0 3 C 27/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透明な積層体と、前記積層体を支持構造に取付けるための取付け手段とを含む外部圧力プレートグレージングに有用なグレージング要素であって、(1)前記積層体が、少なくとも 1 つのガラス層であって、前記ガラスの少なくとも 1 つの表面上で熱可塑性ポリマーの中間層に直接結合された少なくとも 1 つのガラス層を含み、(2)前記中間層が、前記積層体の少なくとも 1 つの端縁を越えて延在し、(3)前記中間層の延在部分の 1 つの表面が、前記取付け手段の少なくとも 1 つの表面に結合され、(4)前記中間層の延在部分の別の表面が、前記ガラスに結合され、(5)前記取付け手段が、前記支持構造の維持チャネル内で前記積層体を整列させ保持するのに有用なクリップであり、(6)前記クリップが、第 2 のグレージング構造の構成要素と噛合させることができる要素をさらに含むことを特徴とするグレージング要素。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

一態様において、本発明は、透明な積層体と、積層体を支持構造に取付けるための取付け手段とを含む外部圧力プレートグレージングに有用なグレージング要素であって、(1)積層体が、少なくとも 1 つのガラス層であって、ガラスの少なくとも 1 つの表面上で熱可塑性ポリマー中間層に直接結合された少なくとも 1 つのガラス層を含み、(2)中間層

が、積層体の少なくとも1つの端縁を越えて延在し、(3)中間層の延在部分の1つの表面が、取付け手段の少なくとも1つの表面に結合され、(4)中間層の延在部分の別の表面が、ガラスに結合され、(5)取付け手段が、支持構造の維持チャンネル内で積層体を整列させ保持するのに有用なクリップであり、(6)クリップが、グレージング構造の第2の構成要素と噛合うのに有用な鋸歯状歯を有する延在部をさらに含み、グレージング構造の第2の構成要素も、クリップの鋸歯状歯と適合する鋸歯状歯を有することを特徴とするグレージング要素である。

本明細書は以下の実施態様を開示する。

[ 実施態様 1 ]

透明な積層体と、前記積層体を支持構造に取付けるための取付け手段とを含む外部圧力プレートグレージングに有用なグレージング要素であって、(1)前記積層体が、少なくとも1つのガラス層であって、前記ガラスの少なくとも1つの表面上で熱可塑性ポリマーの中間層に直接結合された少なくとも1つのガラス層を含み、(2)前記中間層が、前記積層体の少なくとも1つの端縁を越えて延在し、(3)前記中間層の延在部分の1つの表面が、前記取付け手段の少なくとも1つの表面に結合され、(4)前記中間層の延在部分の別の表面が、前記ガラスに結合され、(5)前記取付け手段が、前記支持構造の維持チャンネル内で前記積層体を整列させ保持するのに有用なクリップであり、(6)前記クリップが、第2のグレージング構造の構成要素と噛合わせることができる要素をさらに含むことを特徴とするグレージング要素。

[ 実施態様 2 ]

前記噛合い要素が、前記第2のグレージング構造と噛合うための鋸歯状歯を含むことを特徴とする実施態様1に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 3 ]

適合する構成要素が、第1の取付け用のクリップと噛合うのに適合する鋸歯状歯を有するクリップを含む第2の積層体であることを特徴とする実施態様2に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 4 ]

前記支持構造がフレームであることを特徴とする実施態様3に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 5 ]

前記熱可塑性ポリマーの中間層が、エチレンと少なくとも1つの、 - 不飽和カルボン酸または酸誘導体との共重合から得られたコポリマーであることを特徴とする実施態様4に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 6 ]

前記少なくとも1つの、 - 不飽和カルボン酸誘導体が、  
アルキルエステル、  
、 - 不飽和カルボン酸塩、  
、 - 不飽和カルボン酸無水物、またはそれらの混合物からなる群から選択されるモノマーであることを特徴とする実施態様5に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 7 ]

前記少なくとも1つの、 - 不飽和カルボン酸または、 - 不飽和カルボン酸誘導体が、 $C_3 \sim C_8$ カルボン酸または誘導体であることを特徴とする実施態様6に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 8 ]

前記グレージング要素が、図2に示されているようであることを特徴とする実施態様7に記載のグレージング要素。

[ 実施態様 9 ]

前記グレージング要素が、図3に示されているようであることを特徴とする実施態様7に記載のグレージング要素。